

令和4年1月25日(火)「第24回 湿原再生小委員会」が釧路地方合同庁舎の共用会議室で開催されました。

### 開催概要

小委員会には、22名（個人14名、4団体4名、関係行政機関4機関5名）が出席しました。（コロナウイルス感染拡大状況により一般の方の傍聴は中止させていただいています。）

今回は、「幌呂地区湿原再生事業について」、「広里地区自然再生事業について」、「達古武湖自然再生事業について」、事務局より報告があり、それぞれに対する意見交換が行われました。

### 湿原再生小委員会とは



湿原再生小委員会は、釧路湿原自然再生協議会の7つある小委員会の一つです。毎年1～2回の会議を開催し、湿原生態系と希少野生生物生息環境の保全・再生に関わる以下のような施策について検討をしています。

- ・地盤切り下げなどによる湿原再生
- ・達古武湖の湖沼環境の再生
- ・急拡大したハンノキ林の取扱いの検討



### 湿原再生の取り組み



釧路川とその流域

#### 幌呂地区（鶴居村）



- ・幌呂地区では、湿原植生の回復を図るため、計画的に地盤の切り下げ、未利用排水路の埋戻しを実施して、地表面が地下水位に近づくことで湿原植生の回復を図っています。
- ・現在は事業を進めながらモニタリング調査を実施しています。

#### 達古武地区（釧路町）



- ・達古武湖では、「繁茂したヒシによる水生植物への影響」や、「富栄養化の原因となる栄養塩類の流入量」を減らすことで生育環境を改善し、水草をはじめ多様な動植物がバランス良く生育している湖の再生を目指しています。

#### 広里地区（釧路市、釧路町）



- ・広里地区では、急拡大したハンノキ林の要因解明と、未利用地となった農地を1960年代以前の湿原の姿へ再生するための手法について検討しています。
- ・現在は検討を終了し、過去に急拡大したハンノキ林の経過を観察するモニタリングを継続しています。

# 1 幌呂地区湿原再生事業について

## ◆ 令和3年度の取り組み

### 地盤切り下げ・未利用排水路埋め戻し箇所のモニタリング結果

- 事業実施箇所の地下水位は概ね地盤高付近で推移しており、湿原植生も経年的に増加しています。
- 今年度は事業実施箇所でタンチョウの営巣確認など、湿原本来の自然環境が再生してきています。

### B区域の湿原再生について

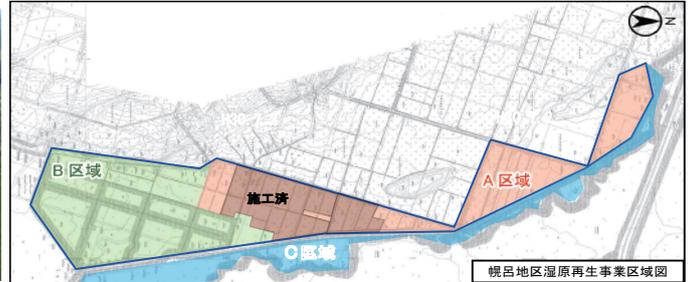
- 未利用排水路の埋め戻しの実施によりハンノキの生長抑制を目標としているB区域について、今後の事業実施内容案を検討しました。
- 次年度に現地状況を確認し、計画案策定に向けて検討を進めていく予定です。



UAV調査でタンチョウの抱卵を確認



B区域の位置図



幌呂地区湿原再生事業区域図

## このような意見交換が行われました。

- A区域の工事完了予定と、B区域の着手予定を教えてください。  
▶ A区域は全体の半分程度が完了しています。今後もモニタリングしながら実施していく予定です。B区域は小委員会の方針を決めて着手したいと考えています。
  - B区域の切り下げ案は、周辺の野生生物への影響を考え避けたほうが良いと思います。また、ハンノキ林でも林床植生によっては湿原として評価しても良いと思います。  
▶ ご意見を踏まえて次年度以降の検討を進めていきます。
  - B区域の排水路を埋め戻さずにせき上げるのは有効だと思います。また、埋め戻し対象外の排水路にも遮水効果を持たせるよう検討してはどうでしょうか。  
▶ 水路の高さなど現地状況を確認し、保水効果を事業計画に反映したいと考えています。
  - 植被率だけでなく、優占種や群落組成調査の実施を踏まえたモニタリング計画をお願いします。  
▶ 今後のモニタリングの進め方について、現地の状況を確認しながら、方法も含めて検討していきます。タンチョウなど植物以外の生物についても、専門家と連携しながら対応していきたいと考えています。
  - 物理環境の変化が生物にどのように影響して現在の生息環境になっているのかを整理することで、今後の対策に繋がると思われます。  
▶
- 委員長 委員 事務局

# 2 広里地区自然再生事業について

環境省釧路自然環境事務所が取り組みました

## ◆ 令和3年度の取り組み



広里地区の全景

### 広里地区自然再生事業の成果

- 広里地区での自然再生事業の成果として、これまでの検討結果についてとりまとめました。
- とりまとめた成果については、環境省HP「湿原データセンター」にアップロードしました。

## このような意見交換が行われました。

- 「ハンノキ林に問題がない場合はそのまま収束する」ということですが問題とはなにを想定していますか。  
▶
- どのような状態を問題ありと捉えるかを想定していませんでした。R6にモニタリングを実施して、その結果をご報告させていただくので、それをもって皆さんにご意見をいただき、問題が生じているか否か検討していきたいと思えます。

### 3 達古武湖自然再生事業について

#### ◆ 令和3年度の取り組み

##### 達古武湖のモニタリング結果

- 令和3年度は、達古武湖の水面を覆っているヒシの刈り取りや、湖の水質や水位等の調査を行いました。
- ヒシ刈りをした場所ではヒシ以外の水草が継続して生育していることを確認しました。
- ドローンで撮影した画像から浮葉植物の面積を算出し、南西岸、東岸エリアでヒシ以外の浮葉植物の面積が維持されていることを確認しました。



浮葉植物の湖内分布



繁茂するヒシの状況

##### ヒシ以外の浮葉植物



ネムロコウホネ

ヒツグサ

#### このような意見交換が行われました。

- 委員長** 栄養塩の発生源が流入負荷なのか、底質の嫌気化による溶出なのかを把握しなければ対応が難しいと思います。栄養塩の収支バランスや水の循環の評価は過去に検討していますか。
- 委員** 過去に実施していないため、来年度以降の検討材料にしたいと思います。
- 事務局** 底泥が要因であれば浚渫が考えられますが、見通しはありますか。
- 委員** 2014年に達古武湖南部で浚渫をしていますが、それ以外で実施していません。今年度の調査でも底泥が高い富栄養化状態にあるので、底泥に原因があるかもしれません。
- 委員長** 根本的な水質悪化の原因が解決できない状況で、物理的にヒシを取り除くことで水草の多様性が維持できているのはとても重要な結果だと思います。今後もこの手法を継続していくべきだと思います。
- 事務局** 来年度以降、ヒシ刈りの面積を広げるために動力船の導入も検討していますが、何かご意見はありますか。
- 委員** 在来植生への影響や費用が問題になると思います。
- 事務局** 先行事例では、水鳥や他の生物への影響などについて意見があったため、十分に検討を行った上で決断したほうが良いと思います。

#### その他の意見

- 委員** 水質や地下水、水の流れの問題については、水循環小委員会と連携した開催についても検討をお願いしたい。

##### 「幌呂地区湿原再生実施計画」の概要（平成24年5月）

幌呂地区周辺では、1970年代から湿原を農地として活用するために、幌呂川の切り替え工事や排水路の整備が行われました。その結果、地下水位の低下や冠水頻度が減少により、周辺の湿原が乾燥し、植生が変化しています。

幌呂地区では、未利用農地の地盤切り下げ、未利用排水路の埋め戻しを行い、地下水位を地表面に近づけて、湿生環境の復元を図ります。

くわしくはこちら [「幌呂地区湿原再生実施計画」](#)

##### 「達古武湖自然再生実施計画」の概要（平成25年2月）

達古武湖には、かつて多様な水生植物が生育していましたが、周辺環境の変化により湖の水質が変化し、アオコやヒシが繁茂して生物の多様性が損なわれています。

繁茂したヒシを除去したり、湖に流入するリンや窒素などを抑えることで環境の改善に取り組んでいきます。

くわしくはこちら [「達古武湖自然再生事業実施計画」](#)

～★★市民参加のイベントを実施しました★★～

より多くの方に事業効果を知っていただくために、幌呂地区では再生地の見学会やヨシ苗の移植、達古武湖ではカヌーでのヒシ刈り体験や野外教室などを開催しています（今年度はコロナのため一部中止）。

地域の方々との連携（幌呂地区）

- 令和3年8月に地域の方々で幌呂地区の見学を行いました。当日は18名の方々が参加し、湿原再生の現場を見学したり、ヨシの苗の移植などを行いました。



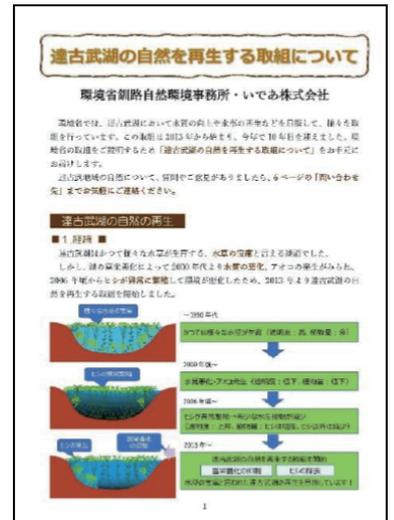
ヨシの苗移植の様子



湿原再生現場の見学

地域の方々との連携（達古武地区）

- 今年度は新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令に伴い、ヒシ刈りイベントは中止となりました。
- 住民の方々に取り組み状況をお知らせする方法として、説明用資料の配布を行いました。



- 北海道開発局 釧路開発建設部 治水課  
〒085-8639 釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎7階  
Tel : 0154-24-7354

詳しくはこちら →



- 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所  
〒085-8639 釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎4階  
Tel : 0154-32-7500

**釧路湿原自然再生協議会 湿原再生小委員会**  
国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 治水課  
環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所

議事録や会議資料などは  
こちらをご覧ください。



第24回 湿原再生小委員会 [出席者名簿 (敬称略、五十音順)]

個人 [14名]

- 伊藤 毅 [上智大学]
- 加藤 ゆき恵 [釧路市立博物館]
- 神田 房行 [北方環境研究所 所長 (元北海道教育大学副学長)]
- 木村 勲
- 坂井 一浩 [八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所]
- 櫻井 一隆
- 新庄 興
- 新庄 久志 [釧路国際ウェットランドセンター技術委員長 (環境ファシリテーター)]
- 関 基 [八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所]
- 照井 滋晴 [特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表]
- 平間 清 [(有) 平間ファーム]
- 矢部 和夫 [札幌市立大学 教授]
- 渡部 哲史 [京都大学防災研究所]
- 渡辺 剛弘 [上智大学]

団体 [4団体/4名]

- 釧路湿原国立公園連絡協議会 [事務局長 元岡 直子]
- 国立研究開発法人  
土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム [上席研究員 巖倉 啓子]
- 特定非営利活動法人Envision環境保護事務所 [渡曾 敏明]
- 特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ [井上 雅子]

関係行政機関 [4機関/5名]

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 治水課 [課長 池田 共実]
- 環境省 釧路自然環境事務所 国立公園課 [課長 松尾 浩司]
- 釧路町 [渡辺 裕二、牧野 兼作]
- 鶴居村 [竹内 智春]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>



ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。  
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会  
運営事務局

TEL(0154)23-1353  
FAX(0154)24-6839